

SND2020 ポスター発表プログラム

ポスターセッションは、11/26日の16:50-18:50に開催されます。ポスター賞の候補者のポスター番号は赤字で示しています。ポスター発表者は、割り振られた各部屋にて質疑応答に応じてください。各ポスター番号をクリックするとアブストラクトのページに行きます。

ポスター番号	部屋番号	氏名	所属	ポスタータイトル
P1	R306	藤尾 和樹	東京工業大学	微視的平均場模型を用いたU-236の核分裂経路の研究
P2	R306	石崎 翔馬	近畿大学	Md-258原子核による核分裂過程の理論解析
P3	R306	天野 翔太	近畿大学	準核分裂における質量と角度の相関の起源
P4	R306	山崎 僚太	近畿大学	動力学模型による核分裂過程での中性子放出
P5	R306	奥林 瑞貴	近畿大学	動力学模型による中性子過剰核の核分裂計算：rプロセスシミュレーションに向けて
P6	R306	中本履祐	関西大学	二体分解反応における非共鳴バックグラウンドの理論的評価
P7	R401	岩本 信之	JAEA	JENDL-5のためのコバルト59に対する中性子核データの評価
P8	R401	今野 力	JAEA	JENDL/AD-2017から作成したSCALE6.2のORIGENライブラリ
P9	R401	岩元 洋介	JAEA	米国フェルミ国立加速器研究所(FNAL)における120 GeV陽子を用いた弾き出し損傷断面積の実験計画
P10	R401	松村 太伊知	JAEA	異なる崩壊データライブラリを用いた燃料デブリから放出される光子スペクトルの比較
P11	R401	中野 敬太	JAEA	FFAG加速器を用いた加速器駆動核変換システムのための核データ測定: 核破砕中性子測定
P12	R401	Gerard Rovira Leveroni	JAEA	ANNRIでの高速中性子断面積測定のための中性子フィルターシステムの開発
P13	R401	児玉 有	東京工業大学	試料回転法を用いた中性子捕獲断面積の高精度化のための新たな手法
P14	R401	中野 秀仁	東京工業大学	高強度中性子ビームを用いた核データ測定のための中性子検出器の開発
P15	R203	青木 計志	大阪大学	BNCTのための絶対熱外・高速中性子束強度測定検出器の開発
P16	R203	竹原 峻平	大阪大学	14MeV中性子による大角度弾性散乱反応断面積ベンチマーク実験のための放射化検出器の最適化
P17	R203	宮地 嘉弘	大阪大学	Am-Be中性子線源を用いたコンクリートの含水量非破壊測定法の実験的検証
P18	R203	Kim Tuyet Tran	KEK	16.6MeVにおける中重核の光中性子生成に対するJENDL/PD-2016.1と実験データの二重微分断面積の比較
P19	R203	網谷 達輝	東京工業大学	原子炉廃止措置におけるクリアランス検認に必要な放射化放射エネルギーの核データに由来する不確かさ評価手法の開発
P20	R203	杉原 健太	九州大学	PHITSによるp-Li反応を用いた中性子源RANS-IIの放射線場特性に関する研究
P21	R203	竹下 隼人	九州大学	natLu標的に対する0.4, 1.3, 2.2, 3.0 GeV陽子入射による核種生成断面積
P22	R203	徳永 直輝	九州大学	COMET Phase-I実験のための粒子線束と残留放射能の評価
P23	R203	上村 拓也	京都大学	固体と液体状態でのSn-Pb合金の全断面積測定
P24	R203	松村 理久	埼玉大学	高放射性核種90Srの逆運動学法を用いた陽子および重陽子誘起反応による核変換
P25	R203	小森 有希子	RIKEN	natLu(p,xn)およびnatLu(d,xn)反応による175Hfの生成断面積の測定
P26		名内 泰志	電力中央研究所	京都大学臨界集合体実験装置とKU-LINAC施設での短寿命FPY線の検出